



江津市立桜江中学校 学校だより

いわき

R8.3.12(木)

第18号

文責:山下 積

令和7年度(第51回) 卒業証書授与式



3月7日(土)、16名の卒業生が桜江中を巣立ちました。ご卒業おめでとうございます。桜江中の伝統を引き継ぎ、素晴らしい活躍を見せてくれた卒業生。きっと次の進路先でもしっかりと力を発揮されることを期待しています。

これで本校の卒業生は2092名となりました。これからは、桜江中学校第51期の卒業生として、桜江中の発展を温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

1・2年生のみなさんのご協力のおかげで、厳粛で温かい雰囲気のスばらしい卒業式になりました。ありがとうございました。しばらくは、3年生のいない寂しい期間が続きますが、卒業生からのバトンを受け取り、桜江中の伝統を受け継いでください。

卒業生が製作したベンチを校庭に設置しました。



昇降口裏に約2mの高さで残っていた樺(ケヤキ)を伐採し、吉岡建設さんの協力を得て、ベンチに加工できるよう裁断しました。その後、卒業生が研磨したり、防腐剤を塗ったりして、ベンチに仕上げました。対になっていることから、卒業生のアイデアで2基のベンチを『風神』『雷神』と名前をつけました。

体育館と校庭のスペースに設置しています。ぜひ、座り心地を確かめてみてください。

卒業生のみなさん、ありがとうございました。

◆ 受賞の記録 ◆ おめでとうございます ※敬称略

【令和7年度 島根県中学校体育連盟表彰】 ☆[3年] 今田 音々 稲口 美桜

【令和7年度 島根県吹奏楽連盟表彰】 ☆[3年] 森下 心羽

【令和7年度 青少年読書ノート島根県コンクール】 ☆優良賞 [1年] 横田 桜

◎ 令和7年度 江津市学力調査の結果分析

昨年12月に行われた「江津市学力調査(国、数、英、意識調査)」の結果が返ってきました。校内での分析が完了しましたのでお知らせいたします。

○今回は江津市独自の調査のため、目標値を基準として分析を行い、参考に市の平均値や全国の平均値とも比較しながら考察しています。

※目標値とは、調査業者による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した生徒の割合を示したもの

	1年生	2年生
全体	全ての教科が目標値とほぼ同等で、良好である。無回答率が低く、記述問題にも積極的に取り組んでいる。	全ての教科が目標値を上回り、たいへん良好である。無回答率が低く、記述問題にも積極的に取り組んでいる。
国語	目標値をやや上回っているが、市や全国の平均値とほぼ同じである。特に「文章を書くこと」「我が国の言語文化に関する事項」のスコアが高い。「話すこと・聞くこと」「読むこと」に課題がある。	全体的に目標値を上回っており、たいへん良好である。特に「話すこと・聞くこと」「文章を書くこと」「情報の扱い方に関する事項」のスコアが高い。「我が国の言語文化に関する事項」に課題がある。
数学	目標値とほぼ同じである。基礎的なことを習得している生徒が多い。「数学的に表現すること」「数学的に説明すること」には課題がある。	全体的に目標値を上回っており、たいへん良好である。基礎的なことを習得している生徒が多い。「1次関数」に課題がある。
英語	目標値を上回り、良好である。特に「語形・語法の知識・理解」「英作文」のスコアが高い。「リスニング(内容理解)(対話文の応答)」と「英文の読み取り」に課題がある。	全体的に目標値を上回っており、たいへん良好である。特にリスニングのスコアが高い。「さまざまな英文の読み取り」と「場面に応じて書く英作文」に課題がある。
意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家で決まりを守ったり、あいさつをしたりしている一方、「朝は自分で起きている」「夜は時刻を決めて寝ている」などの肯定的回答率が低い。 ・学習意欲は一定程度備わっているものの、目標設定や時間管理などの自己調整能力には課題がある。 ・本や新聞を読んでいる生徒が少ないことから、説明文等を読み取ることに課題があると考えられる。 ・「自分には良いところがある」や「友達や先生から認められている」、「自分のことが好き」などで肯定的な回答をした生徒は半数以下である。「将来の夢をもち、自分の力をできる限り伸ばしたい」と考えている生徒が大半なので、いいところを褒めたり、前向きな声かけをしたりしていく。 ・「勉強に図書館・辞書(電子辞書を含む)を利用する」、「参考書や問題集などを使って勉強している」、などの肯定的回答率が低かったことから、図書館やICTを積極的に活用する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家で決まりを守ったり、持ち物の確認を行ったりしていることから、基本的な生活習慣は定着しているといえる。 ・「家の人から言われなくても、進んで勉強をしている」や「自分で勉強の計画を立てて、勉強している」と回答した生徒が多いことから、自己調整能力が一定程度身につけていると考えられる。 ・「学校や自分、地域のことが好き」で、「自分には、いいところがある」や「友達や家族・先生から認められている」と感じている生徒が多い。さらに「将来の夢をもち、自分の力をできる限り伸ばしたい」と考える生徒が多く、前向きな学年であると言える。 ・「新聞の記事を読んでいる」、「勉強に図書館・辞書・パソコン(インターネットをふくむ)を利用する」などの肯定的回答率が低かったことから、授業において図書やICTを積極的に活用する機会を設けることで、資料の読み取りや情報の収集・整理といった情報活用能力の向上につなげることができると考えられる。